

FMV

B5FY-9551-01 Z0

FMV シリーズ

オンラインマニュアル

カラー液晶ディスプレイ -19 ワイド
(VL-193SSW/SWX)

FUJITSU

はじめに

このたびは、弊社のカラー液晶ディスプレイ -19 ワイド (VL-193SSW/SWX) (以降、本製品) をご購入いただき、誠にありがとうございます。

このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2009年7月

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼するときには、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください。(詳しくは、保証書をご覧ください。)
- ・本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造終了後5年です。
- ・保証期間後に修理で機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

- ・本製品のLCDパネルは、有寿命部品です。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、1日約8時間のご使用で約5年です。なお、この期間内はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

<主な有寿命部品>

LCDパネル、アルミ電解コンデンサ

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本製品は国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

電源の瞬時低下について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

静電気および低周波電磁界に関するガイドラインについて

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定めた『表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン』に適合しています。

PC グリーンラベルについて



本製品は PC3R『PC グリーンラベル制度』の審査基準（2009 年度版）を満たしています。
詳細は、WEB サイト <http://www.pc3r.jp> をご覧ください。

本製品は電気・電子機器の特定の化学物質<鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質>の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本製品における特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
<http://www.fmwworld.net/biz/fmw/jmoss/>

■ 警告表示について

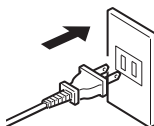
本マニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■ 電源プラグとコンセント形状の表記について



本製品に添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。このマニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ (I25V15A) 用コンセント」をご利用ください。このマニュアルでは「コンセント」と表記しています。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
VL-193SSW	本製品	
VL-193SWX		
Windows Vista [®] Ultimate	Windows Vista	Windows
Windows Vista [®] Home Premium		
Windows Vista [®] Home Basic		
Windows Vista [®] Business		
Windows Vista [®] Enterprise		
Microsoft [®] Windows [®] XP Professional	Windows XP	
Microsoft [®] Windows [®] XP Home Edition		

■ 警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■ 商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

VESA、DDC は Video Electronics Standards Association の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。
また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

■ 液晶ディスプレイ本体

⚠ 警告



- ・ 本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。



その後、異常な現象がなくなるのを確認して、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.36）、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・ 本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.36）、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- ・ 本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.36）、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・ 近くで落雷のおそれがある場合は、本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、雷がやむまで取り付けないでください。

そのまま使用すると、落雷による感電・火災の原因となります。



- ・ 開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。



- ・ 本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。

感電・火災の原因となります。

修理や点検などが必要な場合は、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.36）、またはご購入元にご連絡ください。



- ・ 梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



- ・ 取り外したカバー、キャップ、ネジなどの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



- ・ 本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



- ・ 振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下して、けがの原因となります。



- ・ 本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因となります。



- ・ 本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・ 本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。
また、本製品の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となります。



- ・ 矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源等）に接続しないでください。
火災の原因となることがあります。



- ・ 添付もしくは指定された以外の電源コードを本製品に使ったり、本製品に添付の電源コードを他の製品に使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・ 清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。

⚠ 注意



- ・ 本製品を布などでおったり、包んだりしないでください。設置の際は本製品と壁の間に 10cm 以上のすき間をあげ、通気孔などの開口部をふさがないでください。また、通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- ・ 本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。



- ・本製品を直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。



- ・本製品をお使いになるときは次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10 ～ 15 分の休憩時間や作業時間中に小休止を取るようになしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。また、画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の目の傷害の原因となることがあります。
 - ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
 - ・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
 - ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
 - ・いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
 - ・手首や腕、ひじは机やいすのひじかけなどで支えるようにする。



- ・本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。
電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



- ・液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。



- ・本製品を腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所で使用しないでください。
本製品が腐食する可能性があります。

■ 電源コード

⚠ 警告



- ・電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）またはパソコン本体のアウトレットに直接かつ確実に接続してください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



- ・電源コードの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。



- ・電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。
修理は、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.36）、またはご購入元にご連絡ください。



- ・電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、電源コードの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。



- ・電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。



- ・電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。
火災・故障の原因となることがあります。

⚠ 注意



- ・電源コードを束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。

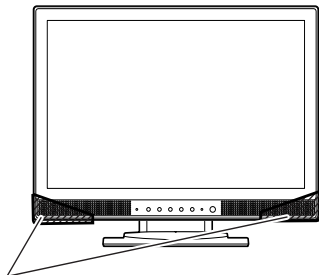


- ・本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

使用上のご注意

- ・液晶ディスプレイは次の特性をもっていますが、故障ではありません。
 - 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用して画面の表示を中断するか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。省電力機能などを利用して、自動的にディスプレイの電源を切る設定は、「電源プランの選択」ウィンドウ（Windows Vista）、または「電源オプションのプロパティ」ウィンドウ（Windows XP）で行います。詳しくは、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。また、スクリーンセーバーの設定については、Windows のヘルプをご覧ください。
 - 表示する条件によっては、むらおよび微少な斑点が目立つことがあります。
 - 周囲環境（温度）によって、表示状態が影響を受けることがあります。
 - 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの、表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。
 これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ・液晶ディスプレイの取り扱いについて

- 衝撃を与えたり、強い力で押したりしないでください。故障の原因となることがあります。
- ひっかいたり、先のとがったもので押したりしないでください。画面に傷がつく原因になります。
- ・ 画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- ・ 持ち運びの際は画面やスタンド部を持たないで、下の図のように画面下部を両手で持ってください。背面のカバーを持つと、カバーが外れて本製品を落とす危険があります。



ここを持つ

- ・ 本製品のスタンドの設置面には、台足を使用しています。台足の特性上、長時間同じ場所に設置していると、ご使用のテーブルや家具などに台足が吸着することがあります。
- ・ 画面をアルコールの成分を含んだ市販のクリーナーなどで絶対に拭かないでください。
- ・ 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
「9 日常のお手入れ」（→ P.37）
- ・ 本製品の近くで、携帯電話やトランシーバーなどの電波を発する機器を使用すると、本製品の画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
- ・ 本製品は電源を切っても待機電流が流れます。長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ ディスプレイケーブル、電源ケーブルなどの接続されている各種ケーブルを引っ張った状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。

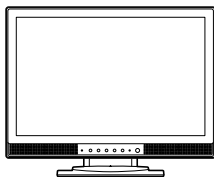
目次

はじめに	1
安全上のご注意	4
使用上のご注意	7
1 製品を確認してください	11
2 本製品の特長	12
3 各部の名称と機能	13
画面の角度調節について	14
4 液晶ディスプレイの設置と接続	15
接続の前に	15
本製品を設置する	15
パソコン本体と接続する	16
盗難防止について	18
アーム、または壁掛けキットの取り付け方法	18
スタンドの取り付け方法	21
5 ディスプレイドライバ (INF ファイル) のインストール	22
初めて電源を入れるとき	22
最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする	22
6 液晶ディスプレイのセットアップ	23
AUTO セットアップアクション機能について	23
「エコモード」機能について	24
画質を選ぶ	25
細かい設定を行う	26
画質モードと調整項目の組み合わせ	29
7 省電力機能	30
8 こんなときには	31
画面が表示されない	31
画面がおかしい	32
画面調整ができない	34
音が聞こえない／変な音が聞こえる	35
お問い合わせ先	36
9 日常のお手入れ	37
清掃する	37
10 リサイクル	39

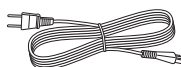
11 仕様	40
本体仕様	40
標準表示仕様	41
コネクタ仕様	42
外形図	42

1 製品を確認してください

梱包箱から製品を取り出し、製品が揃っていることを確認してください。万一足りないものがあつた場合は、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。



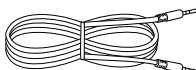
カラー液晶ディスプレイ本体



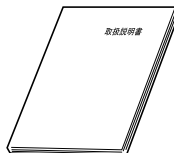
電源ケーブル



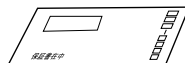
ディスプレイケーブル



オーディオケーブル



取扱説明書



保証書

2 本製品の特長

1 大画面・高解像度・省スペース

19 型ワイドの大画面です。

1440 × 900 ドットの解像度で最適に表示されます。

また、スタイリッシュな狭額縁デザインを採用したため、ワークスペースを広く使えます。

2 sRGB 対応

ディスプレイとプリンタ／スキャナ／デジタルカメラなどの機器との色再現性を合わせる国際規格である sRGB での表示が可能です。



- ▶ sRGB とは、ディスプレイ／スキャナ／デジタルカメラなど周辺機器同士の色再現性や、プリンタで出力するときの色を合わせることを目的にした、色の表現範囲を規定するための国際規格です。

sRGB の設定については「細かい設定を行う」(→ P.26) をご覧ください。

3 親切な自動調整機能

初めて入力された解像度(モード)でも、本製品が検知して自動的に調整しますので、解像度(モード)を変更しても、すぐに最適な画面でご使用になれます。

4 グリーン製品

省エネルギー、リサイクルしやすい材料の採用など、環境にやさしい設計です。

このマークは富士通株式会社のグリーン製品の評価基準に適合した製品に表示しています。



**Green
Policy
Innovation**

5 多彩な設置方法

本製品は VESA の FDMI 規格に対応しています。FDMI 規格に準拠したアーム、または壁掛けキットに取り付けることができます。



- ▶ 「VESA FDMI」とは「VESA Flat Display Mounting Interface」の略で、液晶ディスプレイとアーム、または壁掛けキットを取り付けるインターフェースです。インターフェースとしては 75mm × 75mm と 100mm × 100mm の 2 種類あります。本製品は、100mm × 100mm に対応しています。

6 エコモード機能

周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整する機能及びワンタッチで明るさを最小にする機能の 2 モードを搭載しています。

本機能を使用すると最大約 38% の消費電力を低減することができます。

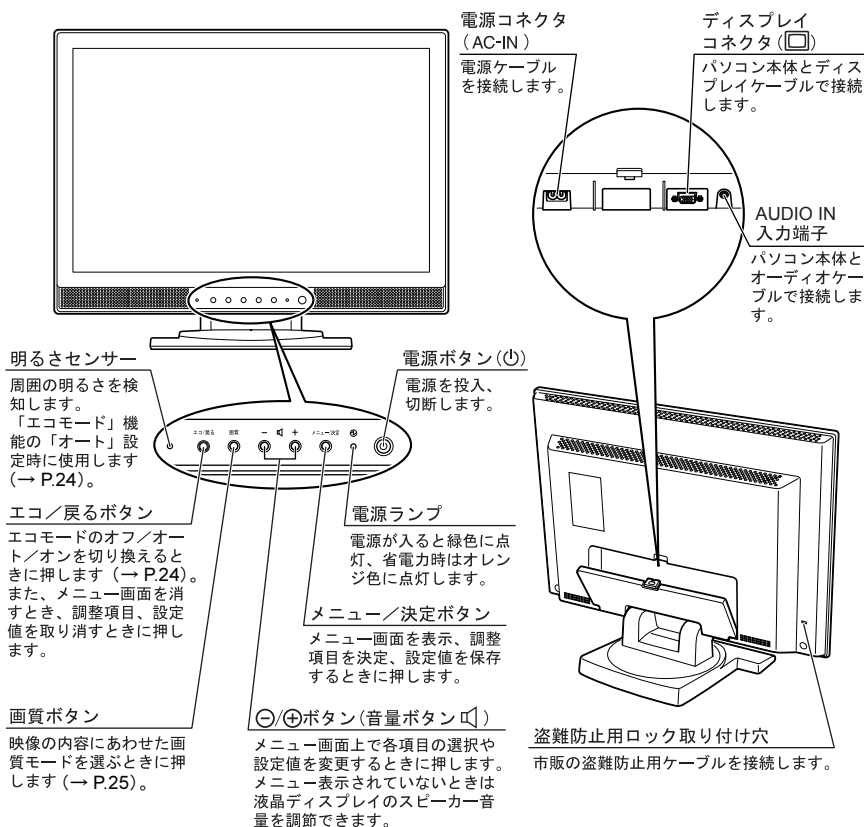
7 スピーカー内蔵

ステレオスピーカーを内蔵し、立体感のあるサウンドでマルチメディア環境を実現します。

8 DDC/CI 対応

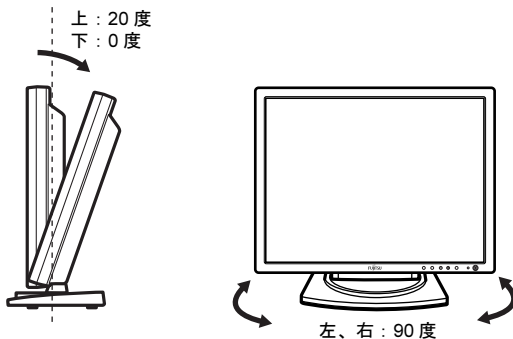
本製品は、VESA の DDC/CI (Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。パソコン本体が DDC/CI 規格に対応している場合は、DDC/CI 機能を使って画面を設定できます。

3 各部の名称と機能



画面の角度調節について

ディスプレイの上下・左右の角度を調節するときは、ディスプレイの両端をつかみ、任意の角度に調節してください。



(イラストは機種や状況により異なります)

⚠ 注意

- ・ディスプレイの上下の角度を調節するときに、ディスプレイ下部とスタンドの間に指をはさむおそれがありますので、ご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ・上図に示す角度を超えて無理な力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。

4 液晶ディスプレイの設置と接続

接続の前に

- すべての接続が終了するまで、本製品とパソコン本体の電源は入れないでください。
- 本製品の電源ケーブルをコンセントに接続する場合、本製品の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入れてください。
- 本製品の仕様と、パソコン本体の仕様を確認してから、接続してください。
「標準表示仕様」(→ P.41)

POINT

- ▶ パソコン本体のマニュアルの記述もご覧ください。

本製品を設置する

 **注意** ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、本製品が落ちて破損やけがのおそれがあります。

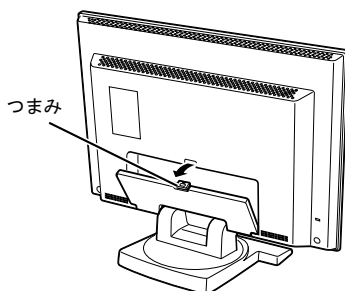
- 本製品を設置する場合は、安定した場所に設置してください。
- 本製品を窓際に設置する場合は、液晶パネルに直接太陽光が当たらないようにしてください。
- テレビやラジオ、衛星放送チューナーなどのそばに設置しますと、受信の障害となる場合がありますので、遠ざけてご使用ください。

POINT

- ▶ VESA FDMI 規格対応のアーム、または壁掛けキットを使用して設置する場合は、「アーム、または壁掛けキットの取り付け方法」(→ P.18) をご覧ください。

パソコン本体と接続する

- 1** 本製品背面のカバーを取り外します。
つまみを下に押し下げながら、手前に引きます。



2 ケーブルを接続します。

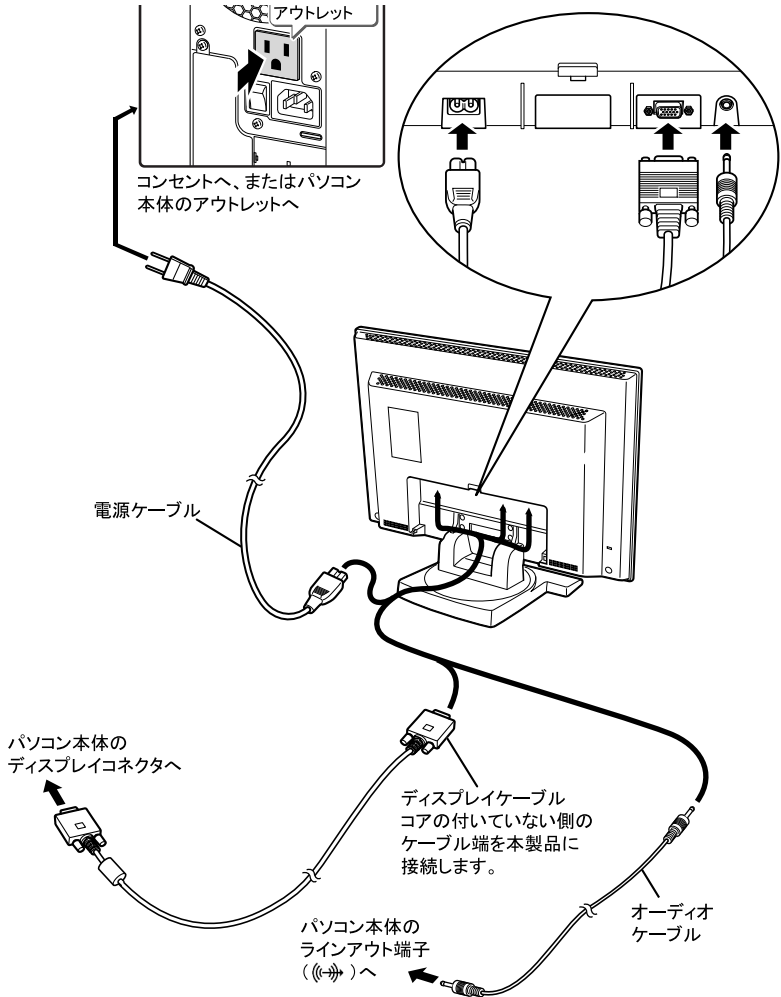
■ パソコン本体にアウトレットがない場合

電源ケーブルをコンセントに接続します。

■ パソコン本体にアウトレットがある場合

電源ケーブルをパソコン本体のアウトレットに接続します。このように接続すると、本製品の電源がパソコン本体の電源と連動して入るようになります。

初めて電源を入れるときは、パソコン本体の電源を入れてから、本製品の電源を入れてください。ケーブル接続後に本製品に一度電源が入ってからは、パソコン本体の電源が入ると自動的に本製品にも電源が入ります。パソコン本体を起動するたびに本製品の電源を入れる必要はありません。



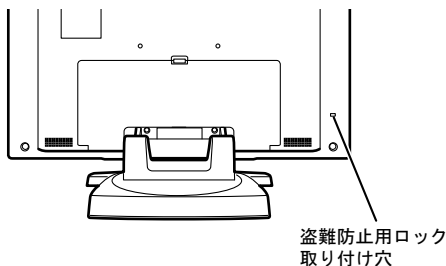
⚠ 注意

- ・本製品は、コンセントまたはパソコン本体のアウトレットの近くに設置し、異常が発生したときに、すぐに対応できるようにしてください。
- ・万一、異常が発生した場合は、本製品の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントまたはパソコン本体のアウトレットから抜いてください。

3 本製品背面のカバーの開口部にケーブルを通すようにして、カバーを取り付けます。

盗難防止について

本製品の背面には、盗難防止用ロック取り付け穴があります。市販の盗難防止用ケーブルを接続できます。



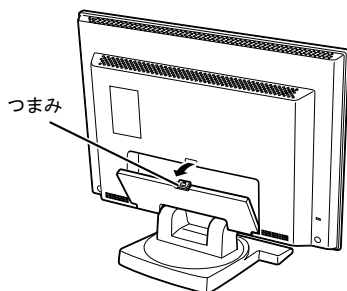
アーム、または壁掛けキットの取り付け方法

本製品はスタンドを取り外して、VESA FDMI 規格対応のアーム、または壁掛けキットを取り付けることができます。
ドライバーをご用意ください。

重要

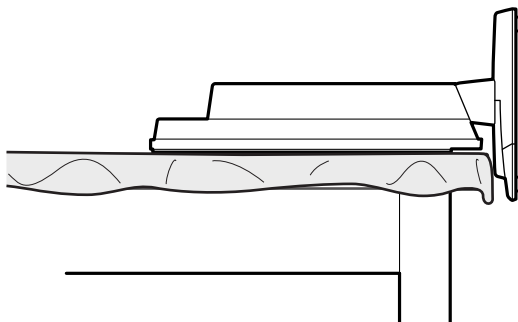
- ▶ 本製品に取り付けるアーム、または壁掛けキットはVESA FDMI 規格に適合したものを選びください。
- ▶ 本製品に取り付けられるアーム、または壁掛けキットは次の条件を満たしている必要があります。
 - ・取り付け部分のネジ穴の間隔が100mm × 100mm である
 - ・M4 × 10mm のネジで、取り付けができる
 - ・8kg の重さに耐えられる
- ▶ 取り付けおよびアーム、または壁掛けキットを設置するときは、アーム、または壁掛けキットのマニュアルもご覧ください。
- ▶ ネジは、VESA FDMI 規格対応のアーム、または壁掛けキットに添付されているもの（M4 × 10mm）を必ず使用してください。
- ▶ ネジは最後までしっかりと締めてください。取り付け方が不十分な場合、外れて落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

- 1** 本製品背面のカバーを取り外します。
つまみを押し下げながら、手前に引きます。



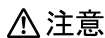
- 2** すでにケーブルを接続している場合は、いったんすべてのケーブルを取り外します。
「パソコン本体と接続する」手順2 (→ P.17)

- 3** カバー／液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた下図のような安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。



4 スタンドを取り外します。

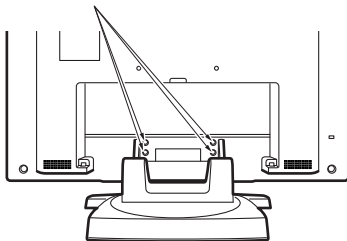
ネジ (4ヶ所) を外した後、スタンドを取り外します。



注意

スタンドは必ず手で持って作業してください。スタンドの落下により、破損、けがのおそれがあります。

ドライバーでネジを外します。(4ヶ所)

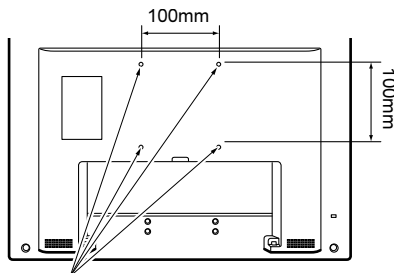


POINT

- ▶ 取り外したスタンド、ネジは、スタンド使用時に必要ですので、大切に保管してください。

5 本製品をアーム、または壁掛けキットに取り付けます。

本製品のアーム、壁掛けキット固定用ネジ穴 (4ヶ所) に、アーム、または壁掛けキットのネジ穴を合わせ、アーム、または壁掛けキットに添付されているネジ 4 本 (M4 × 10mm) で取り付けてください。



アーム、壁掛けキット固定用ネジ穴

6 アーム、または壁掛けキットを設置した後、ケーブルを接続します。

「パソコン本体と接続する」手順 2 (→ P.17)



重要

- ▶ アーム、または壁掛けキットを設置するときは、アーム、または壁掛けキットのマニュアルをご覧ください。



POINT

- ▶ アーム、または壁掛けキットを設置した後で、本製品背面のコネクタにケーブルを接続できない場合は、アーム、または壁掛けキットを設置する前にケーブルを接続してください。

7 手順 1 で取り外した背面のカバーを取り付けます。

スタンドの取り付け方法

- ・アーム、または壁掛けキットを外してスタンドを使用する場合は、「アーム、または壁掛けキットの取り付け方法」(→ P.18) の逆の手順でスタンドを取り付けてください。

5 ディスプレイドライバ (INF ファイル) のインストール

初めて電源を入れるとき

パソコン本体に接続後、最初の電源投入時に、本製品のドライバ (INF ファイル) のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って一度「プラグアンドプレイモニタ」として設定を完了させ、その後ドライバのダウンロード／インストールを行ってください。

POINT

- ▶ 本製品の INF ファイルは、Windows Vista および Windows XP でインストールできます。他の OS でご使用の場合は、そのまま「プラグアンドプレイモニタ」としてご使用ください。

最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする

最新のドライバ (INF ファイル) は、富士通製品情報ページ (http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html) よりダウンロードできます。

「ドライバダウンロード」をクリックし、「ディスプレイ INF ファイル／タッチパネルドライバ」から型名を検索してダウンロードし、インストールしてください。

6 液晶ディスプレイのセットアップ

AUTO セットアップアクション機能について

本製品は、次の場合、最適な表示を得られるように画面位置・水平サイズなどを自動調整します。

- ・初めてディスプレイを本体に接続した場合
- ・今までに入力されたことのない解像度（モード）が設定された場合

重要

- ▶ AUTO セットアップアクションは、本製品の対応する解像度（モード）でのみ動作します（→ P.41）。
- ▶ 一度調整された解像度（モード）は設定値が本製品に記憶されるのでその後はAUTO セットアップアクションは動作しません。
- ▶ AUTO セットアップアクションは、画面全体が暗い色に設定されている場合、動作しないことがあります。その場合は、次の手順で画面の背景を白色にしてからメニュー画面で自動調整（→ P.26）を行ってください。

（Windows Vista の場合）

1. 「個人設定」で「デスクトップの背景」をクリックします。
2. 「場所」の「▼」をクリックし、「純色」を選択します。
3. 一覧から白色を選択し、「OK」をクリックします。

（Windows XP の場合）

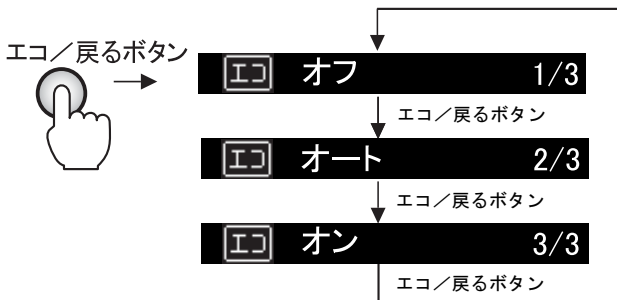
1. 「画面のプロパティ」で「デスクトップ」タブをクリックします。
2. 「色」の「▼」をクリックし、白色を選択します。
3. 「背景」で「なし」を選択します。
4. 「OK」をクリックします。

「エコモード」機能について

本製品には、画面の明るさを抑え消費電力を低減する「エコモード」機能が搭載されています。

「エコモード」には「オフ」「オート」「オン」の3種類があり、通常時の消費電力を最大で約38%低減することができます。

エコボタンを1回押すと、現在のエコモードの状態が表示されます。続けて押すと、次のようにモードが切り換わります。



モード名	機能
オフ	ご購入時の設定です。メニュー画面の「明るさ」で調整した明るさそのまま画面表示します。
オート	明るさセンサーで周囲の明るさを検知し、画面の明るさを自動で調整します。 周囲が暗くなると画面の明るさを下げ、消費電力を低減します。
オン	画面の明るさを最小にします。消費電力が最も少なくなります。

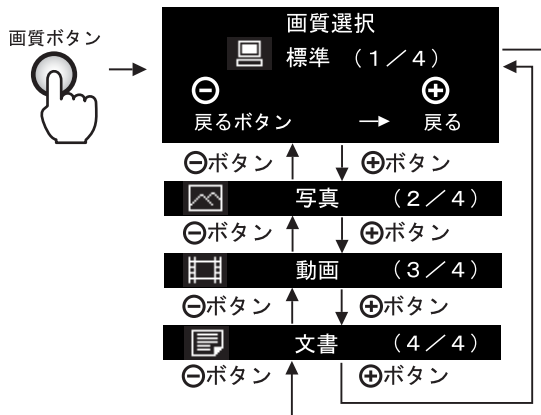
重要

- ▶ 明るさセンサー部は、先のとがったもので傷を付けないでください。
- ▶ 「オート」設定時は、明るさセンサー部をふさがないようにしてください（→ P.13）。
- ▶ 「オート」設定時に明るさ調整を行うと、調整後の明るさを基準に、周囲の明るさに応じた画面の明るさに調整されます。
- ▶ 「オン」設定時に明るさ調整を行うと、エコモードは、「オフ」に設定されます。

画質を選ぶ

画質ボタンを押し、サブメニューから映像の内容に合わせた画質モードを選ぶことができます。

画質ボタンを押すと、「画質選択」画面が表示されます。続けて⊖／⊕ ボタンを押すと、次のように選択が変わります。



モード名	機能
標準モード	標準的な画質のモードです。 また、このモードのみコントラスト、カラー、黒レベルの調整が可能です。
写真モード	デジタルカメラ写真などの静止画表示に最適なモードです。 色を鮮明に表現します。
動画モード ^注	DVD などの動画コンテンツの表示に最適なモードです。 シーンに合わせて見やすい階調表現に自動的に調整し、コントラスト感とダイナミック感を表現します。
文書モード	メールや文書の作成などの背景に白が多い表示のときに最適なモードです。 明るさが下がり、文字が見やすくなります。

注：動画モードは、画面内の画像の変化（動画）を検出して全画面の階調表現を自動で調整します。そのため画像が変化していない部分も影響を受けるため、階調や色が変わって見えます。動画モードでは、動画を全画面表示して使用することをお勧めします。

重要

- ▶ メニュー画面などが表示されている場合、画質ボタンは無効です。メニュー画面などの表示が消えた後に、画質ボタンを押してください。
メニュー画面については、「細かい設定を行う」(→ P.26) を参照してください。
- ▶ 細かい画質の調整は、画質選択で標準モードを選択後、メニューボタンでメニューを表示させて調整を行ってください。
画質の調整項目については、「調整項目の内容」(→ P.27) を参照してください。

細かい設定を行う

画面下部にあるメニュー／決定ボタンを押して表示されるメニュー画面の中から、個別に選択して調整することができます。ボタン類の操作は、次のようになります。

■ ボタンの機能

メニュー／決定

- ・メニュー画面の表示
- ・調整項目の決定
- ・設定値の保存
- ・ボタンロックの解除

－, ＋

- ・調整項目の選択（メニュー画面表示のとき）
- ・設定値の調整（メニュー画面表示のとき）
- ・スピーカー音量の調整

エコ／戻る

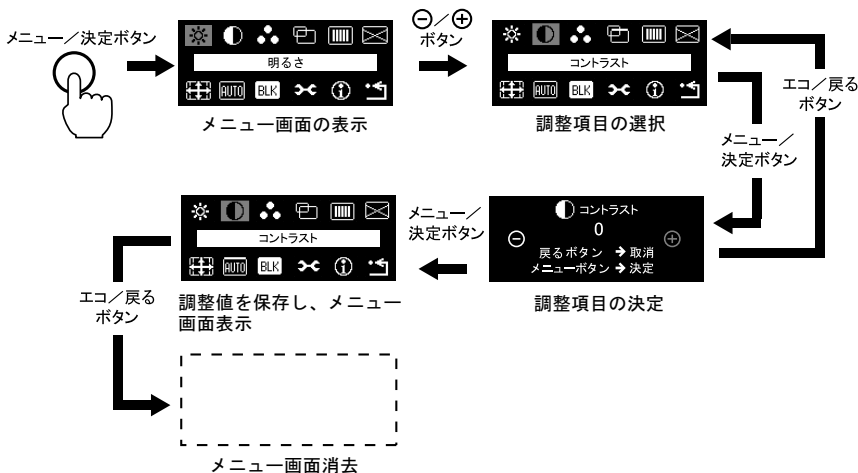
- ・メニュー画面の消去
- ・調整項目の取り消し
- ・設定値の取り消し
- ・エコモード（オフ、オート、オン）の切り換え

画質

- ・画質の切り換え

□ 調整例

例) コントラストを調節する場合



10 秒以上音量調整、画質選択、エコモード切換のいずれかが表示されている状態で、10 秒以上ボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示が自動的に消えます。次に電源を入れたときにも、保存された内容で画面が表示されます。

■ 調整項目の内容

アイコン	名称	機能
	明るさ	画面全体の明るさを調整します。
	コントラスト	画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します。
	カラー	sRGB ：プリンタなどの機器との色再現性を合わせる国際規格「sRGB」に設定します。 色温度 ：ディスプレイの色温度を設定します。5000K、6500K、9300K から選択できます。 ユーザ ：画面の色を R (赤)、G (緑)、B (青) 単位で細かく調整します。
	画面位置	表示位置を上下左右に調整します。
	水平サイズ	帯状（縦）のノイズが発生する場合に調整します。
	フォーカス	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。
	ワイド画面切換	各解像度の画面を画面全体に拡大するか、縦横比を維持して拡大表示するかを選択します。 1440 × 900、720 × 400、640 × 400 および標準表示仕様以外の解像度の画面を表示している場合、本メニューは選択できません。 ワイド ：画面全体に拡大します。 ノーマル ：画面の縦横比を維持して拡大表示します。画面の内側に映像が表示され、画面の端は黒い帯になります。
	自動調整	画面位置、水平サイズ、フォーカスを自動で調整します。実施する場合は、画面の背景を白色にすることをお勧めします。 「AUTO セットアップアクション機能について」(→ P.23)
	黒レベル	黒色のレベルを任意に設定できます。

アイコン	名称	機能
	その他	その他の設定をします。
	ミュート	オンにすると、一時的に本製品のスピーカー出力を停止します。ミュートがオンの時に音量ボタンで音量を調整すると、ミュートは解除されます。
	DDC/CI ^注	VESA DDC/CI をオン／オフします。 DDC/CI は画質モードの「標準モード」選択時のみ機能します。
	TEXT モード切換	640 × 400 と 720 × 400 の解像度を切り換えます。
	ロゴ表示	起動時のロゴの表示をするかしないか設定できます。
	ボタンロック	メニュー／決定ボタン、－／＋ボタン、画質ボタン、エコ／戻るボタン、電源ボタンを無効にすることができます。ボタンロック中にこれらのボタンを操作すると、画面上に「ボタンがロックされています」と表示されます。 ロックを解除するには、メニュー／決定ボタンを 3 秒以上（メインメニューが表示されるまで）押し続けてください。
	情報表示	現在設定されている解像度と周波数が表示されます。またアイコンでスピーカー、DDC/CI、ワイド画面切換、画質モードの状態を確認できます。
	リセット	オール：全ての項目をご購入時の設定に戻します。 カラー：色に関する設定のみを、ご購入時の設定に戻します。

注：本製品は、VESA (Video Electronics Standards Association) の DDC/CI (Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。

■ 音量調整

スピーカーの音量はメニュー画面を表示せずに、 /  ボタンで直接調整できます。

アイコン	名称	機能
	音量	本製品のスピーカーの音量を調整します。  ボタンを押すと音量が大きくなり、  ボタンを押すと音量が小さくなります。 ミュート設定時に音量を調整すると、ミュートは解除され、スピーカーから音が出る状態になります。

POINT

▶ 省電力動作時、音声出力は止まります。

画質モードと調整項目の組み合わせ

○：選択可 ×：選択不可

	標準モード	写真モード	動画モード	文書モード
明るさ	○	○	○	○
コントラスト	○	×	×	×
カラー	○	×	×	×
黒レベル	○	×	×	×
リセット（オール／カラー）注	○	○	○	○

注：リセット（オール／カラー）はどのモードで実行しても、全てのモードの設定値をご購入時の設定値に戻します。

7 省電力機能

本製品はパソコンの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画面の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

画面の表示を中断している状態を省電力状態といい、このとき本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。

本製品は、パソコン本体の制御に応じて、次の表に示すいずれかの省電力状態に移行します。省電力機能については、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

		最大時 ^{注1}	省電力動作時			電源ボタン「オフ」時
消費電力		38W	0.5W			0.4W ^{注2}
入力信号	映像	あり	なし	なし	なし	—
	水平同期信号	あり	なし	あり	なし	—
	垂直同期信号	あり	あり	なし	なし	—
動作	画面表示	表示あり	表示なし	表示なし	表示なし	表示なし
	電源ランプ	緑	オレンジ	オレンジ	オレンジ	消灯

注1：「最大消費時」とは、スピーカーの出力を最大にして使用した場合です。

注2：電源ボタン「オフ」時の消費電力は、電源プラグをコンセントから抜くことにより、避けることができます。

■ パソコン本体のアウトレットからの電力供給について

パソコン本体でスリープ／スタンバイ、または休止状態が設定されている場合、省電力動作時には、アウトレットから電力が供給されなくなります。

8 こんなときには

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.36）にご相談ください。

画面が表示されない

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源ランプが消灯している	電源ケーブルが正しく接続されていない。または奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを正しく、奥まで確実に接続してください。	「ケーブルを接続します。」（→ P.17）
	電源が入っていない。	電源を入れてください。	「各部の名称と機能」（→ P.13）
電源ランプが消灯し、キーボードやマウスが反応しない	パソコン本体の省電力機能の設定が高度（ACPI S3,S4）になっている。	パソコン本体の省電力機能の設定を確認してください。	パソコン本体のマニュアル
電源ランプがオレンジ色に点灯している メニュー／決定ボタンを押すと「節電に入ります」のメッセージが表示される	パソコンが省電力状態になっている。	キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かしてください。省電力状態が解除されます。	「省電力機能」（→ P.30）
	ディスプレイケーブルが本製品またはパソコン本体に、正しく接続されていない。	本製品またはパソコン本体にディスプレイケーブルを正しく接続してください。	「ケーブルを接続します。」（→ P.17）
電源ランプが点灯するが、画面が表示されない場合によっては次のメッセージも表示される 「規定外の信号です」「入力信号がありません」	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」（→ P.41） および パソコン本体のマニュアル
	ディスプレイケーブルが、本製品またはパソコン本体に正しく接続されていない。	本製品またはパソコン本体にディスプレイケーブルを正しく接続してください。	「ケーブルを接続します。」（→ P.17）

画面がおかしい

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が暗い (画面が暗くなった)	エコモードが「オート」または「オン」になっている。	エコボタンを押して、エコモードを「オフ」に設定してください。	「「エコモード」機能について」(→ P.24)
	明るさセンサーが何かに覆われている。	明るさセンサーを覆っているものを取り除いてください。	「各部の名称と機能」(→ P.13)
BIOS 画面が表示されない、または BIOS 画面の表示時間が短い	ロゴ表示が BIOS 画面と重なっている。	ロゴ表示を「オフ」に設定してください。	「ロゴ表示」(→ P.28)
格子状の表示画面がちらつく	フォーカスが合っていない。	フォーカスを調整してください。	「フォーカス」(→ P.27)
帯状(縦)の縞模様が見えることがある	水平サイズの調整が適切でない。	水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。	「水平サイズ」(→ P.27)
水平方向に表示がはみ出る	画面位置の調整が適切でない。	水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「画面位置」(→ P.27)
画面いっぱいに表示されない	標準表示仕様以外の解像度(モード)になっている。	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度(モード)に変更してください。	「標準表示仕様」(→ P.41) および パソコン本体のマニュアル
画面いっぱいに表示されない	ワイド画面切換が「ノーマル」になっている。	ワイド画面切換を「ワイド」に設定してください。	「ワイド画面切換」(→ P.27)
	画面位置の調整が適切でない。	水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「画面位置」(→ P.27)

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面の縦横比が崩れてしまう	ワイド画面切替が「ワイド」になっている。	ワイド画面切替を「ノーマル」に設定してください。	「ワイド画面切替」(→ P.27)
	パソコンの設定が標準表示仕様以外のモード(解像度)になっている。	パソコン本体の設定を標準表示仕様のモード(解像度)に設定してください。	「標準表示仕様」(→ P.41) および パソコン本体のマニュアル
	パソコンの設定が640×400または720×400のモード(解像度)になっている。	パソコン本体の設定を640×400、720×400以外のモード(解像度)に変更してください。	パソコン本体のマニュアル
ワイド画面切替が選択できない	パソコンの設定が、ワイド画面切替できないモード(解像度)になっている。	パソコン本体の設定を、標準表示仕様の解像度にしてください。ただし、次の解像度は除きます。1440×900、720×400、640×400	「標準表示仕様」(→ P.41) および パソコン本体のマニュアル
画面が消えることがある	電源ケーブルが奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを奥まで確実に接続してください。	「ケーブルを接続します。」(→ P.17)
文字の太さが場所によって異なる	フォーカス、水平サイズの調整が適切でない。	水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。	「フォーカス」(→ P.27)
	1440×900よりも低い解像度(モード)になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大処理しているので文字の太さが異なる場合があります。最適な画面にするには「画面の設定」または「画面のプロパティ」で解像度を1440×900に設定してください。	「標準表示仕様」(→ P.41) および パソコン本体のマニュアル
動画再生や画面の切り換え時に画面階調が変わる	画質モードが「動画モード」に設定されている。	他の画質モードに設定するか、動画を全画面でご覧ください。	「画質を選ぶ」(→ P.25)
電源投入直後やWindowsの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	パソコンからの信号が連続的に切り換わるために起こる。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
表示画面にムラがある（もやもやしている）	液晶パネルの表面を押した。	本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。	「各部の名称と機能」(→ P.13)

画面調整ができない

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面上に「ボタンがロックされています」と表示される	ボタンロックが有効になっている。	メニュー／決定ボタンを 3 秒以上（メインメニューが表示されるまで）押し続け、ボタンロックを解除してください。	「ボタンロック」(→ P.28)
メニュー画面の自動調整による調整ができず、次のメッセージが表示される 「失敗しました。マニュアルをご覧ください」	画面全体が極端に暗い色に設定された状態で自動調整が行われた。	画面の背景を白色にして、もう一度自動調整を行ってください。	「AUTO セットアップアクション機能について」(→ P.23)、 「調整項目の内容」(→ P.27)
メニュー画面の自動調整による調整ができず、次のメッセージが表示される 「サポート外のモードです」	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	メニュー画面の情報表示で、現在表示されている解像度（モード）を確認し、パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「調整項目の内容」(→ P.27)、 「標準表示仕様」(→ P.41) および パソコン本体のマニュアル
明るさを調整しても画面が明るくならない	エコ「オート」となっている。 (エコ設定時は、明るさ調整を行っても画面が明るくならない場合があります。)	エコボタンを押して、エコモードを「オフ」に設定してください。	「「エコモード」機能について」(→ P.24)

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	本製品のスピーカー音量またはパソコン本体の音量設定が最小となっている。	適切な音量に調整してください。	「各部の名称と機能」(→ P.13)、「音量調整」(→ P.28) およびパソコン本体のマニュアル
	パソコン本体の音量の設定がミュートになっている。	パソコン本体のミュートの設定を解除してください。	パソコン本体のマニュアル
	オーディオケーブルが正しく接続されていない。	オーディオケーブルが適切な場所に接続され、しっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。	「各部の名称と機能」(→ P.13)
	パソコン本体が省電力状態、または電源がオフになっている。	省電力状態を解除する、またはパソコン本体を起動してください。	パソコン本体のマニュアル
スピーカーからプツプツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、トランシーバーを本製品から離してお使いになるか、使用をやめください。	—

お問い合わせ先

次のお問い合わせ先へご相談ください。

こんなときには	こちらへ
故障かなと思われたとき	<法人のお客様>
	富士通ハードウェア修理相談センター
	通話料無料 0120-422-297
	受付時間 9：00 ～ 17：00（土曜、日曜、祝日および年末年始を除く）
	<個人のお客様>
	故障や修理に関する受付窓口
	通話料無料 0120-926-220
	受付時間 24 時間・365 日対応
技術的なご質問、ご相談	富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口
	通話料無料 0120-950-222
	受付時間 9：00 ～ 17：00（土曜、日曜、祝日を除く）

- ・おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- ・各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。
お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- ・システムメンテナンスのため、お問い合わせ時間であっても受け付けを休止させていただく場合があります。

9 日常のお手入れ

清掃する

お手入れの前に本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントまたはパソコン本体のアウトレットから抜いてください。

重要

- ▶ 化学ぞうきんや市販クリーナーは、次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷付ける場合がありますので、ご使用を避けてください。
 - ・アルカリ性成分を含んだもの
 - ・界面活性剤を含んだもの
 - ・アルコール成分を含んだもの
 - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
 - ・研磨材を含んだものなど
- ▶ 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

□ 画面（液晶パネル）

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。



（イラストは機種や状況により異なります）

□ カバー

水または中性洗剤を含ませ、固く絞った布で拭いてください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸して固く絞った布で中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取りのときには、本製品に水が入らないように充分注意してください。



(イラストは機種や状況により異なります)

10 リサイクル

■ 本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

- ・ 液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。
- ・ 法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>)をご覧ください。

- ・ 個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」をご利用ください。

詳しくは、「富士通パソコンリサイクル受付センター」のホームページ (<http://azby.fmwORLD.net/recycle/>) をご覧ください。

11仕様

本体仕様

型名		VL-193SSW	VL-193SWX
接続 PC 本体		FMV シリーズ、AT 互換機	
入出力 I/F (コネクタ)	映像信号	アナログ RGB (ミニ D-Sub15 ピン) 注 1 0.7Vp-p (正極性)、75 Ω インピーダンス	
	同期信号	セパレート方式:TTL レベル (正 / 負極性)	
	AUDIO IN	0.7Vrms (typ) 12.7k Ω インピーダンス	
表示部	画面サイズ	19 型 (対角 48cm)	
	表示寸法	409mm (H) × 256mm (V)	
	液晶パネル	TFT カラー液晶	
	解像度	1440 × 900 ドット	
	画素ピッチ	0.284mm × 0.284mm	
	表示色	1677 万色	
	輝度	300cd/m2 (Typ.)	270cd/m2 (Typ.)
機能	表示モード	VGA:640 × 400/480	
		SVGA:800 × 600	
		XGA:1024 × 768	
		WXGA+:1440 × 900	
		その他:720 × 400	
	チルト	下 0 ～ 上 20 度	
	スワイベル	左右各 90 度	
電源	入力	AC100V 50/60Hz (入力波形は正弦波のみサポート)	
	最大消費電力注 2	38W	
	通常消費電力注 2	34W (エコモード 「オン」 時: 約 21W)	
	最小消費電力 (省電力動作時)	0.5W	
	電源ボタン「オフ」時注 3	0.4W	
スピーカー	出力	1W × 2 8 Ω インピーダンス	
	周波数特性	450Hz ～ 20kHz (0.5W 出力時)	
寸法		456mm (W) × 365mm (H) × 190mm (D)	
質量		約 4.3kg (本体) 約 4.0kg (表示部)	
使用条件		温度 :5 ～ 35 ℃	
		湿度 :10 ～ 90% (結露しないこと)	

注 1 : 本製品は、VESA (Video Electronics Standards Association) の DDC/CI (Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。

注 2 : 「最大消費電力」の値はスピーカーを使用している場合です。「通常消費電力」、エコモード「オン」時の値はスピーカーを使用しない場合です。

注 3：電源ボタン「オフ」時の消費電力は、電源ケーブルをコンセントから抜くことで避けることができます。

標準表示仕様

本製品には、ご購入時に下表の 13 種類の解像度（モード）の調整値が登録されています。（走査方式がインターレースの信号は対応していません。）

◎：推奨解像度（モード）○：表示可能

No.	解像度（モード）	水平周波数	垂直周波数	極性（H/V）	表示可能解像度（モード）
①	640 × 400	31.5kHz	70Hz	(-/+)	○
②	640 × 480	31.5kHz	60Hz	(-/ -)	○
③	640 × 480	37.5kHz	75Hz	(-/ -)	○
④	640 × 480	37.9kHz	72Hz	(-/ -)	○
⑤	720 × 400	31.5kHz	70Hz	(-/ +)	○
⑥	800 × 600	35.2kHz	56Hz	(-/ -) (+/+)	○
⑦	800 × 600	37.9kHz	60Hz	(+ / +)	○
⑧	800 × 600	46.9kHz	75Hz	(+ / +)	○
⑨	800 × 600	48.1kHz	72Hz	(+ / +)	○
⑩	1024 × 768	48.4kHz	60Hz	(-/ -)	○
⑪	1024 × 768	56.5kHz	70Hz	(-/ -)	○
⑫	1024 × 768	60.0kHz	75Hz	(+ / +)	○
⑬	1440 × 900	55.9kHz	60Hz	(-/ +)	◎

重要

- ▶ 接続するパソコンの種類により、表示位置などが多少ずれることがあります。その場合は、メニュー画面の自動調整を行ってください。自動調整で調整しきれない場合は、メニュー画面の「画面位置」（→ P.27）、「水平サイズ」（→ P.27）、または「フォーカス」（→ P.27）で調整してください。パソコン側での微調整は行わないでください。
- ▶ 上表以外の解像度（モード）にパソコンを設定すると、正常に表示されなくなる場合があります。
- ▶ 1440 × 900 以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったり、縦横比が異なって画像などにゆがみが発生することがあります。これは、擬似的に拡大表示（全画面表示）しているためであり、故障ではありません。
- ▶ 上表の解像度（モード）であっても、スキャンコンバータで表示された NTSC 信号については表示品位を保証するものではありません。
- ▶ 640 × 400 と 720 × 400 の解像度（モード）はメニュー画面から手動で切り換えてください。（→ P.28）

コネクタ仕様

■ディスプレイコネクタ

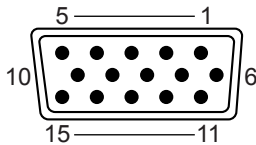
□ アナログ (ミニ D-Sub15 ピン・コネクタ)

端子配列表

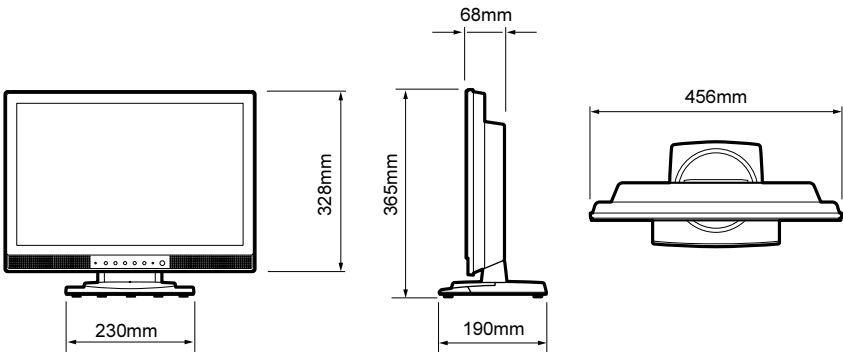
No.	信号	No.	信号	No.	信号
(1)	R (映像)	(6)	アース	(11)	NC 注
(2)	G (映像)	(7)	アース	(12)	DDC DATA
(3)	B (映像)	(8)	アース	(13)	水平同期
(4)	NC 注	(9)	NC 注	(14)	垂直同期
(5)	アース	(10)	アース	(15)	DDC CLOCK

注 NC: 未接続

端子配列図



外形図



FMV シリーズ
カラー液晶ディスプレイ -19 ワイド (VL-193SSW/SWX)
オンラインマニュアル

B5FY-9551-01 Z0-00

発行日 2009 年 7 月

発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

FUJITSU